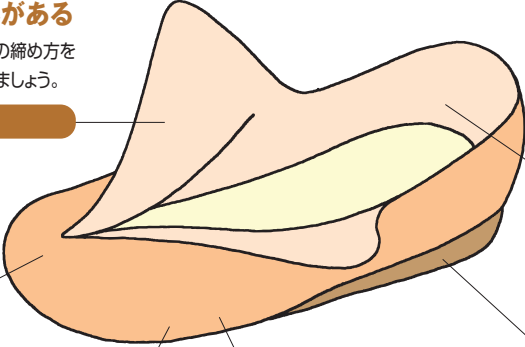


靴の選び方

症状別 靴選びのポイント 自分に合った靴を選んで楽しく歩きましょう



リウマチやむくみがある

- ベルトなどで甲部分の締め方を調節できるものを選びましょう。

足囲調節

外反母趾がある

- 足当たりのよいソフトな素材で痛みをやわらげます。

やわらか素材

疲れやすい

- 軽くて足になじむ素材のものを選びましょう。

軽量

つまずきやすい

- かかとがしっかりして、つま先が少し上がった靴がおすすめです。

つまずき防止

靴が履きにくい

- 履き口が広めで、ゴムなどで広がりやすいものを選びます。
- かかとに取っ手が付いていると便利です。

履き口広め

滑りやすい

- 靴底にほどよい滑り止め加工があると安心です。

滑りにくい

目的別 靴選びのポイント TPOで履き替えて気分もリフレッシュ

おでかけしたい	リハビリしたい	施設の上履きに	室内で履きたい	装具をつけて履きたい
サンダル	サンダル	スリッパ	スリッパ	大きめの普通の靴
歩いている途中で脱げたり、転んだりしやすく危険です。	滑りやすく、足に力を入れにくくなります。	転んだり滑ったりしやすく危険です。	足を引かずりにやすく、滑りやすくなります。	生地が傷みやすく、靴底がすり減りやすくなります。
おでかけ用シューズ ▶P26	リハビリ用シューズ ▶P31	施設・リハビリ用シューズ ▶P33	ルームシューズ ▶P35	装具用シューズ ▶P38
軽くて脱ぎ履きがしやすく、おしゃれな色柄の靴を選びましょう。	足の状態に応じた履き方ができ、足さばきのよい靴がおすすめです。	履きやすく履かせやすい靴を選びます。軽さや色柄の明るさも大切です。	軽くて滑り止め付きの室内履きがおすすめです。	丈夫で靴底がすり減りにくく、おしゃれも楽しめるものを選びましょう。

自分に合った靴が見つからないときは…

足囲の大きい(小さい)靴もあります
ワイドサイズ(5E、7E、9E) ▶P33~34

足の親指の付け根と小指の付け根を結んだ足の周りの太さを「足囲」といいます。靴の足囲は「数字+E」で表され、数字が大きいほど足囲も大きくなります。腫れやむくみのある方、装具をつけている方は足囲の大きな靴、足がやせている方は足囲の小さな靴が必要です。



片足ずつサイズの違う靴が買えます

片足販売

気になる部分を作り替えられる靴があります

パーツオーダー

▶P36

ひと言メモ 軽くて、はきやすく、滑りにくい…はじめてはいたお年寄りには「こんな靴があったんだ…」と驚かれます。